

ぱるつうしん

発行元: 社福) 藤沢育成会 藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話: 0466-28-0909 FAX: 0466-28-0959
法人ホームページ: <http://www.f-ikusei.or.jp>

平成26年10月号

子ども支援部署

～9月の作品紹介～

創作プログラムで、各事業所が取り組んだ作品です。それぞれ、味のある作品が出来上がりました☆



▲カラフル

絵の具と手形ではた作り！
下には、【カラフル】の文字が浮き上がっています。



▲プリズム

巾着袋を絞り染め♪世界に1つの、オリジナル作品です。



▲星の村

絵の具を使い、ペタペタアート作品の出来上がり☆



▲はぐ

折り紙や画用紙で、ハンバーガー作りをしました。

もくじ



- P2 子ども支援部署
- P3 ヘルパー部署
- P4-5 【特集】
『ぱるを大解剖しちゃいます！』
- P6 グループホーム部署
- P7 所長がシャベリスギター
- P8 職員投稿・『ありがとう』

□お知らせ□

9/24に、《第3回スタッフヘルパー研修》を実施しました。今回のテーマは、『障害理解』
【障害とは？】【ダウン症とは？】若手スタッフが中心となり、研修の準備・運営をすすめ、理解を深める研修となりました。詳細は、藤沢育成会ホームページのスタッフ日記で、ご覧いただけます。

■子ども支援部署■

こんにちは。子ども支援部署の原田です。

今号は、前回に続いて、第二回子ども支援部署全体会議の報告をさせていただきます。

第二弾として、外部研修にて「ティーチャーズ・トレーニング」を受講した私が、伝達研修という形で、行ないました。【ティーチャーズ・トレーニング】とは、子どもの行動特徴を理解し、具体的に効果的な対処法を学ぶことを目的としたプログラムです。

その中から2つのポイントについて、ロールプレイ（スタッフ役・子ども役にわかれて具体的な場面設定を実践）を通じて伝えていきます。

①25%でほめる支援

お片付けをする場面で、
上手にお片付けを終えた子（Aくん）にはほめますが、
まだ遊んでいる子（Bくん）
にはどんな声かけをしますか？



「Bくん！Aくんは上手にお片付けできてるね。偉いね！」など他の子どもと比較する声かけは好ましくないようです。

また、子どもが「片付ける」という行動を全て終えてからほめるのではなく、少しでも良い行動を取ったらほめます。ほめる回数を増やしていくことが、次の良い行動へ促すためのコツだそうです。ほめる言葉に詰まった時は、行動を実況するのもオススメです。

②一旦、はなれる支援

複数の子どもとすごしている場面で、ある子どもに対して次の行動に促したい時、そばで「○○しようね」と声かけし続けるのではなく、一旦距離を取ることも必要です。

その間、行動に移せていた他の子どもたちに対して「座れてるね」や「上手にできたね」などと、できている部分について、直接ほめて伝えます。（※比較はしません。）

本人とその行動だけに注目しすぎず、一旦距離をとった後に、再度そばに寄り声をかけることで、「気にかけてくれている」という思いが生まれる場合もあると思います。

ロールプレイをとおし、スタッフからは「ほめられた時の子どもの気持ちを感じる」ことができた。「全力でほめなくても些細なことでもいいのね。」などの感想や気付きが出てきました。今後の支援にどんどん活かしていきます。

☆新スタッフ紹介・あいさつ☆

○斉藤則尚（さいとうのりなお）

9月からお世話に

なります。前職は、

福祉とは関係のない

職種でしたが、退職

後は何か福祉に関係する活動ができればとの思いで応募をいたしました。

まだ戸惑うことも多いのですが、昨年の暮れ、退職直後に始めた『こども医療センター』での外来や外来図書でのボランティアの経験が多少ともプラスになっていると思います。スタッフや先輩がたに教えて頂く日々ですが早くチームの一員として活躍できるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

☆「寄付ありがとう」ございます①☆

登録ヘルパーさんより、

おもちゃの寄付をいただきました。

おもちゃは大人気！子どもたちが、夢中になって遊んでいます☆



★ヘルパー部署★

●上半期実績報告

早いもので、今年度の上半期が過ぎました。そこで、今回は上半期の報告をしたいと思います。

サービスの時間、件数ともに昨年度から1%の増加でした。ヘルパーも昨年と比較して、ほぼ変わらない人数で活動をしています(現在は約73名で年度の途中で増減があります)。

そう考えると、働き手はほとんど同じ人数で、受けられる件数が微々たるものながら増加している状態であり、下半期もこのまま少しずつでも増加できるように日々調整をしていきたいと思っています。

表1. 上半期サービス実績時間比較

サービス種別	2013年	2014年	前年度比
身体介護	33	39.5	120%
家事援助	98.5	26	26%
通院介助(身体有)	15.3	5.3	35%
通院介助(身体無)	0	0	
行動援護	3355.2	3412	102%
移動支援(藤沢・鎌倉)	4563.3	4629.6	101%
合計	8065.3	8112.4	101%

表2. 上半期サービス実績件数比較

サービス種別	2013年	2014年	前年度比
身体介護	11	19	173%
家事援助	81	26	32%
通院介助(身体有)	7	2	29%
通院介助(身体無)	0	0	
行動援護	1049	1125	107%
移動支援(藤沢・鎌倉)	1412	1413	100%
合計	2560	2585	101%

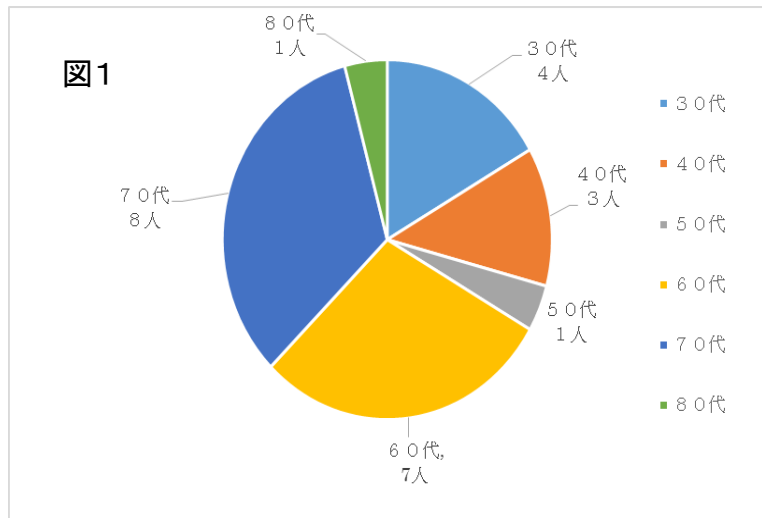
●ヘルパー事業所の現状

現在、73名のヘルパーが働いています。内訳としては、男性ヘルパーが24名、女性ヘルパーは49名が登録しており、比率は、男性1:女性2となっています。

ちなみに、9月にヘルパーを利用した方の数は、

151人で、そのうち男性利用者は103名利用しており、比率としては、男性2:女性1とヘルパーとは逆の現象が起きています。

《男性ヘルパー 年齢層》



次に、男性ヘルパーの年齢層を図1で示してみました。図1を見ると、60〜70代の方が全体の6割を占めていること、つまりぱるのヘルパーを大きく担ってくれているということが分かります。これは恐らく、ぱる以外のヘルパー事業所も同じ状況だと思われる。

●ヘルパー事業所の課題

計画相談が始まってから、利用者のニーズは多

様化し、利用したいという連絡が今まで以上に増えてきています。一方、登録ヘルパーは資格や賃金などの条件から、思うように増えていかない状況にあります。

また、平日については、学校や作業所への迎えのサービスが14〜18時頃に集中する為、その時間帯に活動できるヘルパー分しかサービス提供が出来ないという状況です。その為、受けられるサービスが飽和状態になりつつある、もしくは既に飽和状態になっている事業所が多いのが現状です。

ぱるとしても、上半期の報告からわかるように、昨年度の同時期と比較して、時間・件数ともに大きな増加がないことは、飽和状態になりつつあることを示しているのかもしれない。

●解決に向けて

現在、ヘルパー部署は、藤沢市で活動をしているヘルパー事業所が集まって連携を図るための“藤沢市障がい児者ヘルパー事業所連絡会”という団体に参加しています。

そこでは「登録ヘルパーが増えるために」、「一人でも多く利用ができるように」、「また、ヘルパーのスキルアップ研修」など連携をとりながら課題解決に向けて取り組んでいます。

ぱるとしても、新たなヘルパーを育成するために、「ガイドヘルパー養成研修」を年二回開催しています。より多くのニーズに応えられるよう、今後も努力していきたいと思っています。

～「サービスセンターぱる」のあんなことからこんなことまでまるっと全部教えます(^-^)

第一弾の今回は、各部署のスタッフのある1日の“動き”を時間で表してみました。勤務時間や仕事内容が、部署ごとに全然違うのがわかっていただけたと思います。

月の事業所の予定としては、刻一刻と変わる法律や制度、そして利用者さんの変化に対応できるよう、「運営会議」「部署会議」「常勤会議」「ぱる会議(ぱるスタッフが全員集まるもの)」等を行っています。

ヘルパー部署	子ども支援部署 放課後等デイサービス星の村
9:00	9:00
10:00 出勤	10:00 出勤
朝の打ち合わせ	ぱる昼礼参加
11:00 移動	プログラム会議 (カラフル星の村合同)
A様ケア会議	12:00 移動
12:00 移動	休憩
B様サービス (通院介助)	13:00 クラス打合せ
13:00	14:00 学校送迎
14:00	15:00 デイサービス
15:00 移動	16:00
16:00 休憩	①はじまりの会 ②おやつ ③フリータイム ④プログラム (工作:表紙参照) ⑤フリータイム ⑥トイレタイム ⑦帰りの会 これが、基本のスケジュールです。
17:00 事務作業 (10月サービス調整)	17:00
18:00 C様ケア会議	自宅送迎
19:00 事務作業 (10月サービス調整)	記録記入
19:00 退勤	クラス振り返り
20:00	事務作業(会議準備・個別支援計画評価)
	20:00 退勤

個人で動くことが多い部署の為、朝スタッフ全員が出勤したところで情報共有をします！

「計画相談」が始まってから、格段に増えたケア会議。利用者さんへ統一した支援が行えるように、参加しています。

ヘルパーでは、
①行動援護
②移動支援
③居宅介護
④通院介助
のサービスを行っています！

今日のお昼は「カップヌードルトムヤムクン」おススメです♪

この日は、月末の為、翌月のサービスの調整を行いました。1週間程度の間で、400~500件のサービスを組み立てていきます。

おやつ作りや創作のプログラ内容について企画、検討しています☆
会議等がない場合、事業所に移動して活動準備をおこないます。

学校や学年により下校時間が異なるため、事前確認がとても大切！

①はじまりの会
②おやつ
③フリータイム
④プログラム
(工作:表紙参照)
⑤フリータイム
⑥トイレタイム
⑦帰りの会
これが、基本のスケジュールです。

課題や気になるところを確認するとともに、あらゆる※【良かった場面】に注目することも大事にしています。

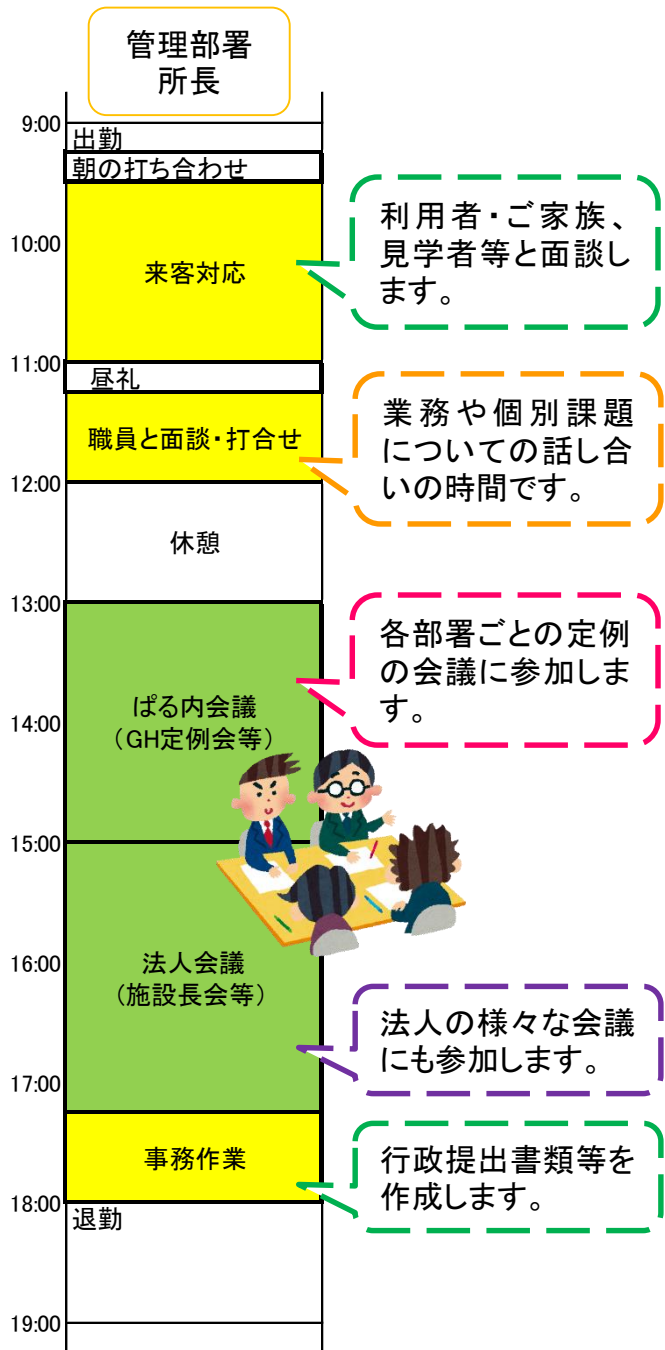
※子ども部署では『きょうのスマイル』と呼んでいます。

※次号では、①子ども支援部署②ヘルパー部署をさらに詳しく紹介します！お楽しみに★

特集「ぱるを大解剖しちゃいます♪」

「サービスセンターぱる」は、一つの事業所ではありますが、行っている事業は多岐にわたります。実は、スタッフ同士でも、他部署の仕事は全部把握できていないくらい様々な業務を行っています。

そこで今回から3号にわたって、各部署の活動や魅力、マル秘情報！？等、皆さんに知ってもらいたいことをたくさん詰め込んだ内容をお届けします！



ぱるの始業時間は、各部署によって異なります。時期や行事、会議などの調整で勤務を変更することもあります。基本的には図の通りです。

本当に、様々な業務を行っているため、意識してスタッフ同士が顔を合わせる機会を設けています。スタッフ一人一人の個性・強みを活かしながら、チームワークも強め、そして「ぱるを一つに」を目指しています。

●グループ・ホーム部署●

2014年度後半、入退職者の紹介をします。

新スタッフ紹介・挨拶

☆ 上田 節子

(うえだ せつこ)



9月からクレソンハイツに週1ではいりました上田です。

実習の時は、黒崎に2回、クレソンハイツに1回はいました。2ヶ所のホームしか経験していませんが、それぞれ特徴があり利用者さんも色々な方がいらつしゃって、自分にできるのか心配なところもありますががんばっていきます。

みなさん、よろしく申し上げます。

☆ 東 幸子

(ひがし さちこ)



この分野のお仕事ははじめてです。わからないことだらけですが、皆さんのお力を借りながら成長していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

☆ 樋下田 恵美

(ひげた えみ)



不慣れなことばかりですが、みなさんに教えて頂きながらしっかりとやっていきたいと思えます。

よろしく申し上げます。

☆ 菊地奈々衣

(きくち ななえ)



はじめまして。わたしは菊地奈々衣と申します。

これからかわせみハイムに世話人として入らせていただく事になりました。このようなお仕事をするのは初めてなので、分からないことばかりなのですが、すこしずつ慣れて楽しく学んでいきたいです。

実習中、ぱるのスタッフの皆さんの積極的でさわやかなお仕事振りを見て励まされました。わたしも頑張りたいと思っています。よろしく申し上げます。

☆ 山本 泰介

(やまもと たいすけ)



大学1年生で社会福祉を勉強しています。週末に児童から高齢までさまざまなボランティアをしています。

若さを武器にがんばっていきます。よろしく申し上げます。

☆ 坂本 紗彩

(さかもと さや)



10月から働くことになった坂本紗彩です。

毎週日曜日に勤務する事になりました。分からない事はありますが、宜しくお願いします。

退職スタッフ

佐野 恵美 さん

大沼 さくら さん

永島 信幸 さん

ありがとうございました。



ぱるの
大
部
屋
・
小
部
屋

所長が

シャブリスギッター



日本に1台しかない一輪車いす



先月、友人3人と一緒に長野県の白馬に2泊3日の旅行をしてきました。友人の1人Sさんは車いすを使用しているのですが、とても活動的でこれまでも一緒に韓国旅行などを楽しんできました。

Sさんと一緒に白馬のホテルで朝風呂に入ろうと、廊下を歩いて温泉に向かっています。同宿の客と思われる、初老の紳士が「昨晚は寒くなかったですか、よく眠れましたか」と気さくに声をかけてきました。その一言でなんとなく意気投合し、3人で雑談を交わしながら、朝風呂を楽しみました。そろそろ風呂を上がろうかというとき、その紳士が、「この近くの五竜植物公園というところに行くと、足が不自由でも山道を歩ける、一輪車の特別な車いすがあるんです。ぜひ、行ってみるといいですよ」とSさんに向かって熱心にすすめてくれました。

「僕がフロントに頼んで、相手先に予約を入れておいてあげるから、どうぞどうぞ」と紳士が話をとんとんと進めてくれて、五竜植物公園に行くことになりました。

五竜植物公園に着くと、Kさんという青年が、組み立て式のとても立派な一輪車いすを用意して待っていてくれました。「トレイルライダー」という名前で、カナダから輸入したものが、日本にまだ1台しかない。



Kさんたちは、NPO法人を結成して、「トレイルライダー」を使った障害者や高齢者への登山サービスをボランティアで行っているとのことでした。Kさんが後ろでメインの押し手になり、私が前でかじ取り役になる。その間に挟まって、Sさんは江戸時代のお殿様が

かごに乗るように車いすに鎮座する。2人のかごかきに引かれて、普通の車いすでは絶対に歩くことのできない急峻な山道をSさんは自在に動きまわることができました。

この絶景を間近に見てSさんは、「こんな山登りができるなんて、思ってもみなかった、すごい、すごい」と感動していました。Sさんと並んで白馬連峰を眺め、Kさんと私も感動をともにしたのでした。

この白馬旅行は、Sさんの旧友のOさんがホテルの料理長をしていて、ぜひ、そのホテルに泊まりに行こうとすることで実現したものでした。

夜、そのOさんが私たちの部屋を訪ねてくれました。そして、驚くべき事実を教えてくださいました。「Sさんにトレイルライダーをすすめたのは、うちの社長だよ」社長はよく、お忍びでホテルの視察に来るそうです。その社長がたまたま廊下でSさんを見かけ、身分は一切明かさず、車いすの人でもできる山登りをセッティングしてくれたのでした。

この社長の粋でスマートな心遣いを知り、トレイルライダーの感動はさらに大きなものになったのでした。



「職員投稿」

こんにちは。ヘルパー部署の上野です。
最近寒くなってきましたが、脂肪の燃焼にはぴったりの季節となりましたね。



普段よく散歩に出かけているので、これを機に痩せてみようかなあ、と思っっています。と言っても、普段たいしたこと考えず、ポケーツとしながら景色を見て歩いているだけです。

いつも休みの日になると目的もなく歩いて過ごしています。どこかへ遠出した帰りに、一駅二駅歩いてみようかなあ、と思い歩いてみるのですが、これがなかなかの気分転換になり、今では立派な趣味の一つとなっています。

人から「趣味は？」と聞かれたときには決まって「散歩」と答えるほどです。

最近膝が痛くなることがあるので、歩いた後にはストレッチをする等、健康にも気を配っています。ですが、なかなか思うように体がほぐれず、どうしたら上手くストレッチができるのか、試行錯誤してはいるものの、しつくり来ないでいる毎日です。

そこで、皆様にこの場を借りてのお願いです。「これだ！」と思う、おススメのストレッチを教えてくださいと思います。

どうぞよろしくおねがいします。



★ご寄付

ありがとうございます②★

①電気カーペット

藤沢市民の方から市役所経由で電気カーペットをいただきました。各部署で活用させていただきます。



②車いす

社会福祉法人「創」様より、車いすをいただきました。グループホームで活躍しています。

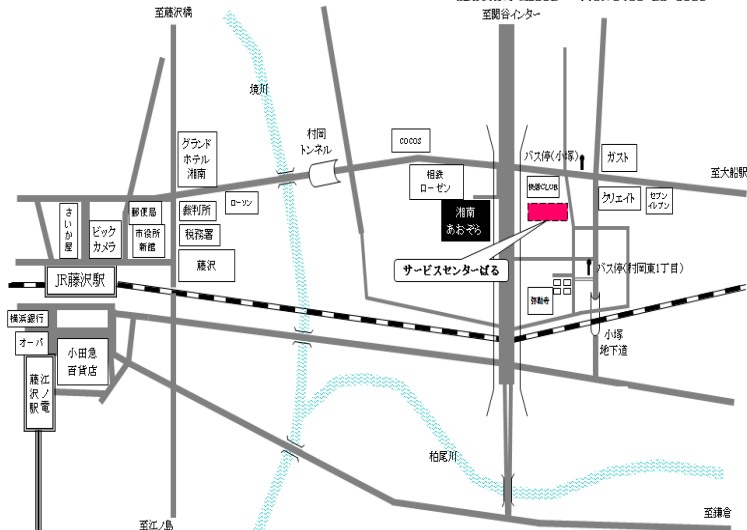


※ぱるは、利用者さんをはじめ、本当に多くの方から寄付をいただいております。

どれも、大切に使用させていただいています。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909
藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>
藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』
『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>
藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』（教養センター行きは×）に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】
藤沢駅北口より徒歩18分